

平成 28 年 7 月 29 日

各 位

会 社 名 フューチャー株式会社
 代表者名 代表取締役会長兼社長 金丸 恭文
 (コード番号 4722 東証第一部)
 問合せ先 執行役員 中島 由彦
 (T E L (03) 5740 - 5724)

平成 28 年 12 月期第 2 四半期連結業績 (累計) のお知らせ

1. 平成 28 年 12 月期第 2 四半期連結業績 (累計) について :

当社グループの当第 2 四半期 (平成28年 1 月 1 日～平成28年 6 月30日) の連結業績 (累計)

は、

売 上 高	17,225百万円	(前年同期比 1.1%増)
営 業 利 益	1,937百万円	(前年同期比 7.5%減)
経 常 利 益	1,900百万円	(前年同期比 9.6%減)
親会社株主に帰属する 四 半 期 純 利 益	1,129百万円	(前年同期比 5.7%減)

となりました。各セグメントの業績については以下のとおりです。

(1) I T コンサルティング事業

流通業・サービス業及び製造業の主要顧客について、I T システムの刷新・統合に係る大型案件を中心に売上が拡大したほか、複数の地方銀行への金融クラウド (SKYBANK) の導入やネット証券・FX取引会社向けのプロジェクトも好調であったことから前年同期比で売上高が増加しました。

また、当社グループ独自のプロジェクト・モニタリングとマネジメント手法 (Future NASA、Future fraqta) について、ツールの追加や改良を行うとともに社員教育の徹底を図りました。これにより、プロジェクトの品質向上や運営の効率化が進み、前年同期比で営業利益が増加しました。

この結果、売上高は10,767百万円 (前年同期比3.8%増)、営業利益は2,200百万円 (同13.5%増) となりました。

(2) パッケージ&サービス事業

FutureOne 株式会社は、一部のプロジェクトの品質問題から新規の受注が遅れたことや、不採算の事業部門の整理を進めたことが影響して、売上高・営業利益とも前年同期比で減少しました。

株式会社マイクロ・シー・エー・デーは、自社製の総合知的財産管理システムについて多くの引合いがあるものの、正式受注の獲得やプロジェクトスタートが遅れており、前年同期比で売上高・営業利益が減少しました。

この結果、売上高は1,640百万円（前年同期比21.7%減）、株式会社マイクロ・シー・エー・デーののれん償却額を反映した営業損失は179百万円（前年同期は151百万円の利益）となりました。

（3）ニューメディア&ウェブサービス事業

株式会社eSPORTSは、前年に大ヒットしたフィットネス関連商品の取扱が無くなったにも関わらず、アウトドア関連商品やプライベートブランド商品のネット販売が好調だったことにより、売上高が前年同期比で増加しました。

東京カレンダー株式会社は、5月の月間ページビューが約2,000万を超えるまでに拡大し、ウェブ広告収入が増加したため、前年同期比で売上高が増加し、営業赤字幅は縮小しました。

コードキャンプ株式会社によるオンラインプログラミング教育サービスの提供などの新規事業については、売上高が大きく増加するなど進捗が見られますが、まだ投資が先行しております。

この結果、売上高は2,601百万円（前年同期比8.7%増）、株式会社eSPORTS等ののれん償却額を反映した営業損失は146百万円（前年同期は59百万円の損失）となりました。

（4）企業活性化事業

食品スーパーを営む株式会社魚栄商店においては、焼き立てピザの販売など来店を促す取り組みにより、前年同期比で売上高が増加しました。また、商品毎の売上高、仕入高及び在庫をITシステムによって分析し、適切な品揃えを実現すること等により、粗利率が改善したことに加え、室内照明の省エネ化などにより販売管理費が減少し、営業利益が前年同期比で大幅に増加しました。

この結果、売上高は2,272百万円（前年同期比1.3%増）、営業利益は23百万円（同88.4%増）となりました。

（注）文中のセグメントの業績数値は、セグメント間の内部売上高または振替高を調整前の金額で記載しております。平成28年4月1日付で持株会社体制への移行により組織体制

を整備したため、当第2四半期連結会計期間より、従来「ITコンサルティング事業」に含めていたグループ運営に係る費用をセグメント利益の調整額に費用として計上する方法に変更し、各グループ会社からの業務委託料やグループ成長支援料等をセグメント利益の調整額に収益として計上する方法に変更しております。前年同期比については、前第2四半期連結累計期間の数値をセグメント変更後の区分及び測定方法に組み替えた上で比較を行っています。

2. 今後について：

(1) ITコンサルティング事業

当社グループでは、これまで一貫して、経営革新・業務改革・システム改革を三位一体として、最新のITを活用することによって、顧客ビジネス改革の実現に貢献することを目指してきました。そのために、ブラックボックス化したレガシーシステムを科学的に分析し、最新のオープンシステムとして再構築する手法（Future Formula）やリアルタイムなデータ処理を可能にする自社製コンポーネント（Future Components）及び独自のプロジェクト・モニタリングとマネジメント手法（Future NASA、Future fraqta）を活用して、グランドデザインから設計、開発、保守運用に至るまでの上流・下流の区別のないサービスを提供してきました。この実績が評価され、業種を問わず、多くの企業から受注をいただいております。

これまでも購買履歴を分析したプロモーション、店舗での商品の自動発注及び需要予測を基づく最適生産計画などAIを実装したシステムの設計・開発を行ってきた実績がありますが、今後については、次世代のアーキテクチャーの開発を進めながら、AI、IoT、ビッグデータを活用したより高度で最新のITシステムを提供することで、顧客の経営革新・業務改革・システム改革により一層貢献することに取り組んでまいります。

また、すでに多くの顧客に導入をいただいている銀行向けの金融クラウド（SKYBANK）のみならず、小売チェーン向けの流通クラウド（SKYRETAIL）等の業種特化型クラウドサービスの展開を推進してまいります。

フューチャーインスペース株式会社は、フューチャーアーキテクト株式会社との連携を高めながら、最先端の統合運用監視ツールを有効活用することにより、24時間365日対応など安定的で利便性の高い最先端のITオペレーションサービスを提供してまいります。

(2) パッケージ&サービス事業

FutureOne 株式会社は、昨年から取り組んでいる自社製パッケージ・ソフトウェア製品の機能刷新を活かして新規案件の獲得を進めることで、売上の拡大や利益の増加に努めてまい

ります。また、他社製の ERP や EC 関連ソリューションの導入や販売チャネル拡大のためにビジネスパートナーとの連携を推進してまいります。

株式会社マイクロ・シー・エー・デーは、自社製の総合知的財産管理システムについて、商談中の案件を確実な受注に結び付けるとともに、マーケティング活動を強化して、顧客パイプラインの拡大を図ります。また、フューチャーアーキテクト株式会社と連携して製品ライフサイクルマネジメント（PLM）など製造業向けのサービスの拡大を進めてまいります。

（3）ニューメディア&ウェブサービス事業

株式会社eSPORTSは、スポーツ・アウトドア及びフィットネス関連商品の戦略的な仕入れやプライベートブランド商品の企画などのマーチャンダイジング活動を強化するとともに、欠品率の減少や配送期間の短縮等を推進することで、売上・利益の成長を図ってまいります。また、5月にオンラインフィットネスサービス「ポケットジム(略称ポケジム)」を開始しましたが、今後もスポーツと健康をキーワードに新たなサービスに取り組んでまいります。

東京カレンダー株式会社は、雑誌媒体で培ってきた上質のコンテンツ創出力を、インターネット上のニューメディアとして新たな形で提供することによりユーザーの支持を受け、ページビューが拡大しております、今後はこのブランド力やこの拡大の過程で蓄積したノウハウを活用してウェブサービスの領域を広げるとともに、リアルイベントとの連携や他社とのアライアンス等を推進し、通期での黒字を目指してまいります。

コードキャンプ株式会社は、オンライン・オフライン双方でのプログラミング教育サービスの提供を個人だけでなく法人にも広げることなど収益基盤の拡大に努めてまいります。

（4）企業活性化事業

株式会社魚栄商店においては、ITを活用して商品毎の売上高・仕入・在庫データの分析を継続して行い、最適な商品仕入れや店舗での品揃えを実現し、売上の拡大と営業利益率の改善に取り組んでまいります。

なお、平成28年12月期通期業績予想につきましては、前回発表（平成28年4月27日付）からの変更はございません。

以上

●本件に関するお問い合わせ先：

フューチャー株式会社 中島

IR 直通 Tel：03-5740-5724 電子メール：ir@future.co.jp